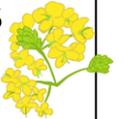




QRコードから過去の振興区だよりがご覧になれます。



魚のさばき方教室 開催しました！！



2月23日(日)13時から15時、調理実習室において、12名の参加のもと、講師に西田鮮魚店の祐宗優司さん、城田一正さんをお願いし、魚の調理に挑戦しました。この教室は初めての試みとして開催し、今回は50cmの大きい「ハマチ」の「三枚おろし・刺身の仕方」の一連の基本的な方法を実践を交えて教わり、各自で挑戦しました。その後、「刺身・なめろう・フライ」の調理のコツを学びました。これまで、最初から魚を捌くことは少なく苦戦していましたが、講師の手ほどきにより見事な出来栄でした。



フラワーリース教室 開催しました！！

2月27日(木)13時30分から15時30分2時間、参加者8名、生の花を使ってフラワーリース教室を開催しました。講師の先生は、土井福恵先生。ミニバラ、ユーカリ、ミモザアカシア等をカットし数本持ってブーケのようにリースベースに巻きつけていきます。花材の香りに癒され包まれながらの制作。集中して2時間があったという間でした。素敵なフラワーリースができあがりしました。



2月役員会報告

(2月25日)協議事項等は次の通りです。

13時30分から14時30分「防犯研修会」14時30分より役員会議題

- (1) 役員選考委員会の報告
- (2) 自治会活性化補助金等に関する審査会結果について
- (3) 令和6年度重点事業の取り組みについて
- (4) 令和6年度一般会計決算見込みについて
- (5) 令和7年度一般会計予算(案)について



令和6年度「福祉関連団体合同研修会」

研修会テーマ「ひきこもりの現状と支援について」

～ひきこもりについての知識や理解を深め地域での支援に向けて～

令和7年2月14日（金）13時30分から自治振興センター多目的ホールに62名の参加のもと「福祉関連団体合同研修会」を開催しました。

今年度も、講演・意見質問形式で開催し、講師にひきこもり支援の先進的な取り組みをされている「総社市社会福祉協議会」からひきこもり支援センター センター長 前田光彦さんをお招きし「ひきこもりの現状と支援について」の講演をいただきました。

講演において、「ひきこもりという状態像は、行政にとって解決すべき重要な**社会全体の課題である**」ことを基本に、総社市の行政及び社会福祉協議会の「ひきこもり支援基礎自治体宣言」「ひきこもり支援等検討委員会の設置」「ひきこもり支援センターの設立」など様々な取り組みの経過について報告をいただきました。ひきこもりの**定義**として「中学校卒業後でおおむね6か月間以上社会から孤立している状態」とされ、総社市では、平成29年度において207人が把握され、支援に向けた取り組みが進められてきています。ひきこもりは、本人や家族だけの要因で起こるものでなく、心の状態や様々な要因、環境が相互に影響して現れる現象で、決して本人や家族のせいでは起きていない状態ではありません。その支援に向けては、ひきこもりが現れる背景や要因を理解することが重要であり、横断的な取り組みが必要であることなど学びました。意見質問においては、ひきこもりの理解や支援の難しさなどが多く出されました。今後、地域福祉の課題としてとらえ「寄り添う支援」について考え実践していく必要があります。



子供将棋教室 最終日「将棋大会」開催！！



生涯学習事業として、昨年9月から本年2月まで半年間にわたり、月2回“子供将棋教室を今年度も松田竹二郎さん(三次市)を講師に開催しました。教室には小学校1年生から6年生9名の参加があり、半年間の長丁場にもかかわらず、毎回ほとんどの子供達の参加があり意欲のある教室となりました。2月の最終日の2月15日(土)には成果を試す将棋大会を開催、終始緊張した雰囲気の中で、真剣勝負が繰り広げられ白熱した大会となりました。

熱戦のすえ、優勝は笠原稜久君(庄原小2年)・準優勝は難波 結さん(庄原小3年)3位は田中春奈さん(庄原小6年)・松森奏佑君(庄原小2年)が入賞されました。表彰式の後、講評として松田講師から「半年間、一生懸命に将棋と立ち向かってきました。これからも将棋とのつながりを多く持って少しずつ実力を積み上げてほしい」とありました。今回、石田優馬君・田中春奈さんの6年生が将棋教室を卒業します。中学校に上がっても様々なことに挑戦してほしいものです。令和7年度も9月から半年間、「子供将棋教室」を行いますのでご参加ください。



令和6年度 防犯研修会を開催しました



だまされないで!!

令和7年2月25日(火)13時30分から自治会長を対象に令和6年度「防犯研修会」を講師として庄原警察署生活安全刑事課吉岡伸也警部補を招聘し、近年多発している「特殊詐欺事件の現状と対応について」開催しました。庄原警察署館内の犯罪発生状況として、犯罪件数としては減少傾向ではあるが、令和6年では窃盗が全体の45%を占めて、その内で住居侵入窃盗・乗物窃盗・万引きが多くあり、その中で無施錠被害が多く、被害防止のために「施錠の習慣化」が必要である。しかし、近年蔓延している特殊詐欺やサイバー犯罪等姿を見せずに遠隔地から実行する犯罪(姿なき犯罪)が発生している現状がある。オレオレ詐欺・架空料金請求詐欺・還付金詐欺・キャッシュカード詐欺・などが市内でも発生している。その中でも60歳以上の女性が対象となる事例が多くあり、身近に依然として存在していることから、「一人では判断せず、一度立ち止まり、家族や警察などだれかにすぐ相談すること」がとても大切であると話されました。

～だまされないために・・・大切なこと!!～

○警察・市役所が SNS で連絡することやお金を要求することは**絶対**にない!!

○見抜け! 詐欺! 3つのポイント ①知らない電話番号 ②人(相手)

③言葉(相手の文言)?

○見抜けないかも⇒事前対策 ①国際電話の着信拒否 ②いつでも留守電に設定

③知らない番号=相手を警戒 ④電話があったらまず相談!!



「あつまろカルタ」をサロンなどでご活用ください!!

市役所高齢者福祉課から「集まり場の活動促進」を図るため提供いただきましたので自治会で活用ください。

交流することの喜び、地域でのつながりの大切さ、フレイル予防の取り組みなど、集まり場の魅力が伝わるよう思いを込めて作りました。



○貸出しは自治振興区事務局へお問い合わせください。
(連絡先) 庄原自治振興センター ☎72-3777

今年も庄原特別支援学校から 「フラワーアレンジメント」が届きました！！

ありがとう
ございました。

毎年、庄原特別支援学校中学部の生徒さんが「地域との交流学习」を目的に日常の学習の中で創作された心温まる創作品を贈呈いただいています。

今年は、色鮮やかなフラワーアレンジメントをいただき、事務室のカウンターに飾らせていただきました。



ITサロン開催します

参加者募集

これまで、「パソコン教室」として長年、月2回開催していましたが、令和7年度から開催方法を変更して「ITサロン」として行います。

日頃、パソコンや携帯電話などIT機器を使っているとき「使い方がわからない」「入力の方法が難しい」「Lineの使い方がわからない」等の疑問を参加された皆さんと「サロン風」に気軽に語りながら学ぶ「ITサロン」開設します。

(開催日) 毎月 第2水曜日 午前の部 10:00~12:00
午後の部 13:30~15:30 ※日程変更の場合があります。

(場所) 庄原自治振興センター 会議室

(内容) 日頃、パソコン・携帯電話などのIT機器の使用において、わからないことを講師の助言により学んでいく。

(講師) 中村 学さん 後藤ひろこさん

(参加費) 毎回500円(当日徴収)

(パソコン等について) 各自、パソコン等をご持参下さい。

(貸出し用のパソコンはございません。)

(受付期間) 初回受付は令和7年4月3日(木)~4月10日(木)。

次回から回覧文書でお知らせします。

(定員) 毎回10名程度(定員になり次第締め切ります)

(参加申込) 庄原自治振興区民を優先します。参加申し込みは、毎回午前の部・午後の部ごとに下記まで電話にて申し込みください。

※ 申込先・問い合わせ先は庄原自治振興センターまで 電話 0824-72-3777



4月の振興区主催行事予定

8日(火) 理事・総務企画合同会議 13:30~

15日(火) 環境防犯パトロール 9:00~
(川手上・沖・中・下の各自治会長)

22日(火) 役員会 13:30~

毎週1回「あいさつ・声かけ運動」

主催:庄原地区青少年健全育成協議会



編集後記

3月20日発行の振興区たよりでは、福祉関連団体合同研修会について取り上げました。本研修会では、総社市社会福祉協議会センター長の前田光彦さんをお招きし、ひきこもり問題の現状や背景、そして具体的な支援策について、具体例を交えながらお話を伺いました。特に印象的だったのは、支援のアプローチとして「理解」と「共感」の重要性を強調された点です。参加者からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。今回の研修会を通じて、福祉関連団体の皆様がひきこもり支援に対する理解を深め、今後の活動に生かしていただけることを期待しています。今後も地域社会の福祉向上に向けて、共に取り組んでまいりましょう。 倉本 記